

平成30年度 全国学力・学習状況調査に関する結果 (第6学年)

国語

○概ね身についている ●課題がある

話す	○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことができる。
言語	○慣用句「心を打たれる」の意味と使い方として適切なものを選択することができる。 ○「せい造」「せつ備」「かん理」に適した漢字を選択することができる。 ●「しょう毒」「せつ極的」に適した漢字を選択する問題で誤答が多い。 ●文章の中から、主語と述語とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直すことに課題がある。
書く	○目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えることができる。 ●話合いの様子を表す文章を読み、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えたことを文章に書くことに課題がある。 ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが文章に書くことに課題がある。
読む	○物語を読んで心に残ったことを一文取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択することができる。 ○伝記の感想文を書いた筆者の意図を、正しく選択することができる。 ●文章を読み、目的に応じて必要な情報を捉えることに課題がある。
指導方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章の中で、漢字を正しく使う指導を充実させる。</li> <li>・自分で書いた文章を、主語と述語との関係に注意しながら、丁寧に読み返していく習慣を身につけるよう指導していく。</li> <li>・書いた文章を発表し合って交流し、考えの明確さや書き方の巧みさなどについて意見を述べ合うような活動を多くしていく。</li> <li>・話合い活動の機会を増やし、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べながら考えたり、文章にまとめたりする習慣をつけるよう指導していく。</li> </ul>

算数

数と計算	○小数のわり算の意味について理解している。 ○示された情報を解釈し、条件に合う「時間」を求めることができる。 ○4色を順に繰り返してつなげ、輪飾り1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶことができる。 ●「32, 40」の二つの数の和が九九の9の段の数になるわけを、分配法則の式に表現することに課題がある。 ●示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、示された表現方法で書くことに課題がある。
量測定	○180°の角の大きさを理解している。 ●180°よりも大きい角の大きさを求めることに課題がある。 ●単位量当たりの大きさを求めるわり算の式と商の意味を理解することに課題がある。
図形	○円周率を求める式を正しく選択することができる。 ○円の直径の長さや円周の長さの関係を理解している。 ○合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見い出すことができる。 ●空間の中にある物の位置を正しく表現することに課題がある。

数量関係	<p>○メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目することができる。</p> <p>○棒グラフと帯グラフから情報を正しく読み取ることができる。</p> <p>●1に当たる大きさを求めるために、小数の場合もわる数になり得ることを理解することに課題がある。</p> <p>●200人のうち80人は何%かを求めることに課題がある。</p> <p>●折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることに課題がある。</p>
指導方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題場面の数量の関係の理解や、計算の意味の理解を基に、演算決定をすることができるように指導をしていく。</li> <li>・低学年から図形の操作や形づくりの活動を通して、図形の意味や空間的な把握ができるよう指導を工夫する。</li> <li>・数量の関係をテープ図や数直線を使って書き表したり、図と式を関連付けて友達に説明したりする活動を増やすことによって、数量の関係を整理して的確に捉える力の向上に努める。</li> </ul>

## 理科

思考・表現	<p>○流れる水の働きによる土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。</p> <p>○物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。</p> <p>●太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を考え、光電池の適切な位置や向きを選ぶことに課題がある。</p> <p>●人の腕が曲がる仕組みを模型を使って説明することに課題がある。</p>
技能	<p>●ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気付き、適切に操作する方法を選ぶことに課題がある。</p>
知識	<p>●人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明することに課題がある。</p> <p>●流されてきた土や石を積もらせる水の働きについて理解することに課題がある。</p>
指導方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、身のまわりで見られる自然や日常生活の事物・現象について、既習した内容を用いて考えられるように指導をしていく。</li> <li>・実験や観察を重視し、予想を立てたり複数の情報を組み合わせて判断したりする力を育成する。</li> <li>・観察や実験の結果や考察などを、自分の言葉や文章で説明させる機会を増やし、友達の考えで違うものがあれば、なぜ違うのかを説明できるように指導をしていく。</li> </ul>

## 児童質問 (全国平均と比べての本校の特徴)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分によいところがあると思う」や「将来の夢・目標を持っている」かの問いは、全国平均と同等の回答である。</li> <li>・「毎日、同じくらいの時刻に起きている」割合は高く、「朝食を毎日食べている」割合は低い。</li> <li>・「家の人（兄弟以外）と学校のでできごとについて話をする」割合が高い。</li> <li>・家庭学習で「授業の予習・復習をしている、本を読んでいる」割合が低い。</li> <li>・放課後や週末の過ごし方は、「習い事（スポーツ以外）をしている」割合が高く、「家でテレビやDVDを見たり、ゲームやインターネットをしたりしている」割合が高い。また、「家族と過ごしている」との回答が多い。</li> <li>・地域や社会で起こっている問題やできごとに関心がある児童の割合が低い。</li> </ul>
---